再評価結果（平成２５年度事業継続箇所）

担　当　課：道路局　国道・防災課
担当課長名：茅野　牧夫

事業名	一般国道４号　鏡石（かがみいし）拡幅	事業区分	一般国道	事業主体	国土交通省 東北地方整備局
起終点	自：福島県（ふくしま）岩瀬郡（いわせぐん）鏡石（かがみいしまち）町久来石（きゅうらいし） 至：福島県（ふくしま）岩瀬郡（いわせぐん）鏡石（かがみいしまち）町高久田（たかくだ）			延長	４．５ｋｍ

事業概要

一般国道４号は、東京都中央区から青森県青森市に至る延長約８７４ｋｍの主要な幹線道路である。
鏡石拡幅は、岩瀬郡鏡石町久来石から同町高久田に至る延長４．５ｋｍの４車線道路である。

Ｈ１５年度事業化	Ｈ１５年度都市計画決定 （Ｈ－年度変更）	Ｈ１９年度用地着手	Ｈ２１年度工事着手

全体事業費	１１２億円	事業進捗率	５６％	供用済延長	－ km
計画交通量	３３，８００台／日				

費用対効果分析結果	Ｂ／Ｃ （事業全体）２．７ （残事業）６．４	総費用　(残事業)／(事業全体) ５３億円／１２５億円 （事業費：３７億円／１０９億円 維持管理費：１６億円／１６億円）	総便益　(残事業)／(事業全体) ３４０億円／３４０億円 （走行時間短縮便益：３１９億円／３１９億円 走行経費減少便益：１５億円／１５億円 交通事故減少便益：5.1億円／5.1億円）	基準年 平成２５年

感度分析の結果

【事業全体】交通量　：B/C=2.6～2.8(交通量　±10%)
事業費　：B/C=2.6～2.8(事業費　±10%)
事業期間　：B/C=2.6～2.8(事業期間±1年)

【残事業】B/C=6.0～6.6(交通量　±10%)
B/C=6.0～6.9(事業費　±10%)
B/C=6.2～6.6(事業期間±1年)

事業の効果等

①円滑なモビリティの確保
・並行区間等の渋滞損失時間：34.1万人・時間/年、並行区間等の渋滞損失削減率：8割削減
・鏡石町役場前交差点（下り方向）等における混雑時旅行速度が18.1km/hである区間の旅行速度の改善が期待される

②都市の再生
・中心市街地内で行う事業である

③国土・地域ネットワークの構築
・鏡石町役場から日常活動圏の中心都市（郡山市　現況39分）へのアクセス向上が見込まれる

④安全で安心できるくらしの確保
・当該区間の沿線に立地する鏡石第一小学校（生徒数：664名、H23.5現在）の通学路として40人/日以上利用されているが歩道が狭小な区間が存在等、安全対策が必要な区間において歩道が設置される

関係する地方公共団体等の意見

○福島県知事の意見
国の対応方針（案）については、異議ありません。
なお、東日本大震災からの復興に向け、早期の完成に努めて下さい。
また、更なるコスト縮減など、総事業費の抑制に努めてください。

○以下の団体等から、鏡石拡幅の整備促進について要望あり
・一般国道4号4車線整備促進期成同盟会（西郷村、白河市、泉崎村、矢吹町、鏡石町）
・郡山地域道路整備促進期成同盟会

事業評価監視委員会の意見

対応方針（原案）どおり「継続」が妥当である。

事業採択時より再評価実施時までの周辺環境変化等

・この事業の目的が失われるような道路交通状況の変化及び関連プロジェクト等の変更はない。

事業の進捗状況、残事業の内容等

・事業進捗率５６％（うち用地進捗率８８％）

事業の進捗が順調でない理由、今後の事業の見通し等

・事業の進捗に係る問題はない。

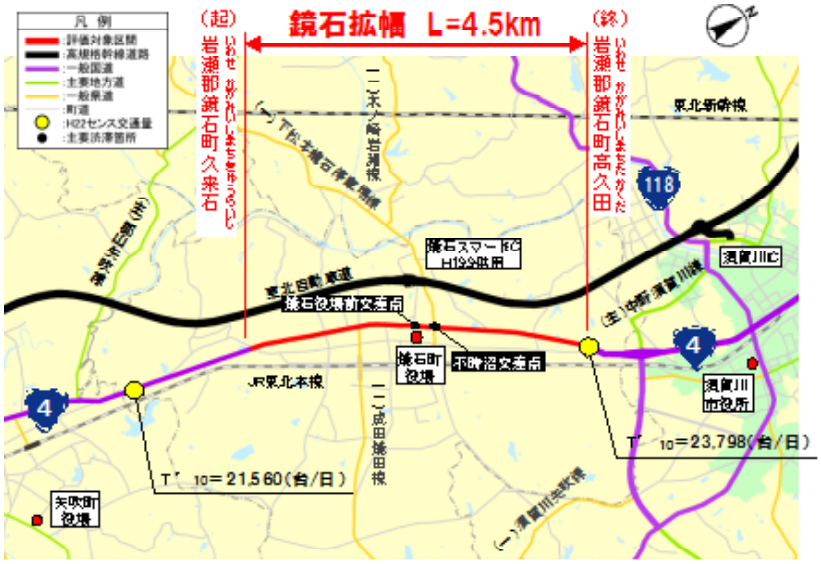
施設の構造や工法の変更等

・再生資源（再生砕石やアスファルト合材等）の活用を図り、コスト縮減を図る。

・地下横断歩道の上屋設計を見直し、側面パネルを減らすことによりコスト縮減を図る。

対応方針	事業継続
対応方針決定の理由	以上の状況を勘案すれば、当初からの事業の必要性、重要性は変わらないと考えられる。

事業概要図



※ 総費用、総便益とその内訳は、各年次の価額を割引率を用いて基準年の価値に換算し累計したもの。
※ 総費用及び総便益の値は、表示桁数の関係で内訳の合計と一致しないことがある。